

遺伝子・デリバリー研究会

第8回シンポジウム

2008年 5月 9日 (金)
千里ライフサイエンスセンター

特別講演

藤原俊義 (岡山大学病院遺伝子・細胞治療センター)

「テロメラーゼ活性を標的とするウイルス製剤の
がん診断・治療への応用」

水野正明 (名大院医)

「Liposomal Delivery Systemと細胞」

依頼講演

片岡一則 (東大院工)

「遺伝子治療実用化に向けたインテリジェント
超分子ナノデバイスの構築」

櫻井和朗 (北九大院国際環境工)

「抗原提示細胞上のグルカン認識部位である
Dectin-1を標的にした核酸医薬のDDS」

中西真人 (産総研バイオセラピューティック研)

「持続発現型RNAウイルスベクターの開発と応用」

西川元也 (京大院薬)

「導入遺伝子発現プロファイルの速度論解析に基づく
遺伝子デリバリーシステムの最適化」

丸山一雄 (帝京大薬)

「バブルリポソームと超音波によるGDS・DDS」

一般演題としてポスター発表を募集します。
参加登録、参加費、発表申込に関しては遺伝子・デリバリー研究会
ホームページ <http://www.gene-delivery.org/> をご参照ください。

遺伝子・デリバリー研究会第8回シンポジウム

実行委員長 長崎 健

大阪市立大学大学院工学研究科

E-mail : sympo2008@gene-delivery.org